科目名	専門演習Ⅰ　　Seminar Ⅰ						
科目担当者	内田 保雄　　UCHIDA Yasuo						
単位数	4	配当年次	２年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科［区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科［専門教育科目　演習］ 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)

授業の概要

本演習では、テーマを決めてミニ研究を行い、研究を行う上で必要となる素養を養う。

テーマ：中小企業向け DX モデルの検討
　中小企業に適合的な DX（デジタルトランスフォーメーション）導入モデルについて検討し、プロトタイプを構築する。

授業の到達目標

① 関連研究や基盤技術等の調査に対して積極的・自主的に取り組むことができる。
② 関連研究や基盤技術等の内容および自身の研究テーマとの関連を報告書にまとめることができる。
③ 研究成果の資料を作成して発表し、説明･説得することができる。

授業計画・内容

1	ガイダンス、生成 AI について	16	ミニ研究（1）
2	研究計画の策定	17	ミニ研究（2）
3	情報の収集法	18	ミニ研究（3）
4	情報の分析法	19	ミニ研究（4）
5	情報の設計法	20	ミニ研究（5）
6	情報の発信法	21	ミニ研究（6）
7	報告会・討議（1）	22	ミニ研究（7）
8	基盤技術等の調査（1）	23	報告会・討議（2）
9	基盤技術等の調査（2）	24	ミニ研究（8）
10	データベースの概念	25	ミニ研究（9）
11	データベースの実装	26	ミニ研究（10）
12	ＤＸとＩＣＴ	27	ミニ論文の執筆（1）
13	ＤＸと情報システム	28	ミニ論文の執筆（2）
14	ＤＸとプログラミング	29	報告資料の作成
15	中間報告会・討議	30	最終報告会

授業外学修（事前学修）

毎回、各回で必要となる情報を収集しておく（毎週 2 時間程度）

授業外学修（事後学修）

毎回、問題点や課題を洗い出し考察しておく（毎週 2 時間程度）

成績評価方法・評価比率・到達目標との対応

成績評価方法	評価比率	到達目標との対応
ミニ論文	50%	①、②
報告会での発表・討議	50%	①、②、③

成績評価基準

秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合
優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合
良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合
可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合
不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合

教科書

特に指定しない。適宜資料等を提示する。

参考文献

適宜紹介する。

その他

＜注意事項＞出席時間数が授業時間数の 3 分の 2 以上の場合に、成績評価及び単位付与の判定を受ける資格を付与する。
＜どのような学生の受講が望ましいか＞プログラミングの能力を伸ばしたい学生。DX に興味がある学生。データサイエンスに関する知識を身につけたい学生。